

1班 住みやすいグループ

生活環境

- 生活環境が整っている。
規模は小さいけれど、生活に必要なものが、すぐに間にある店が結構多い。
- ・商業の中心を作っておいてほしい。
- 行政が一番近いところにある交通機関。
交通網が整備されている。
- ・まちづくりの骨格
 - ・土器川・城・飯野山・中心市街地・城山を中心に考えてみてはどうか。
 - ・中心市街地に集中している。
 - ・まちづくり 人づくりと道づくり
 - ・東西線は充実している。
 - ・南北線は貧弱!!

自然・災害

- まだ自然が残っている。
身近な所に自然が残っているため、公園等の必要性が軽視されている。
自然災害の少ない地域。
- ・雪 ・台風（16年は3回も上陸したが）
- 自然が豊かで災害が少なく、人情豊かである。
- ・湯水の時、旧丸亀、綾歌は割と余裕があった。飯山は厳しかった。地域格差のない整備を！
 - ・H6、11年前の教訓が生かされていない。
 - ・海岸...高潮 / 山...土砂災害
 - ・地域によって防災の方法が違って来る。
 - ・それぞれの地域で現状をより知ることが必要。
 - ・行政の目は海の方に向いているが...
 - ・綾歌・・・山、土砂崩れ
 - ・飯山・・・河川洪水

歴史

- お城と港が近くにあり歴史を感じられ、古い風習も残っている。
- ・飯山
 - ・綾歌
- 快天山古墳 など

コミュニティ

- コミュニティの充実、各種団体との交流と助け合い。
- ・新しいコミュニティ 自治会、連合自治会との関係は？

地域格差

- 保育所が1ヶ所になった。
- ・選択が出来ない。4、5歳は全て幼稚園。
 - ・幼・保一元化。
- 交通の整備が出来ていない。
公的施設が中心市街地に集中しているため、やや不便である。
校区を考えたとき、コミュニケーションをとりにくいグループになることがある。
- ・校区域の見直し。実態と合っていない（生活実態）。
 - ・共通意識をもつ。旧 という認識を早く捨てる。
- 旧垂水町民だけと比べ団地が増え、自治会加入世帯が多く、いろいろな地域運営が難しい。
- ・自治会加入率が低い。
- 治安が悪い。
- ・子どもに対する変質者が増えている。
 - ・公園に異様な人がいるが注意は難しい。

2班 住みやすいグループ

自然が豊かである

生活環境が良い。

物価も他市、県に比較しても安い。

- ・丸亀市の行政についても同じ。人がやさしい、あたたかい。
- ・のんびりした風土である。
- ・保守的。

自然や、農業、地元の特産品（うちわ、桃、はっさく）が豊かである。

自然が豊か。

自然環境に恵まれている。

- ・新鮮な海の幸、山の幸がすぐ手に入る。安い、安全。
- 工業、住宅が明確に分離している。静かである。

公共施設が充実している

公共施設等が十分に整備されている。

それぞれの地域に、教育や文化に関する施設が充実している。（図書館、コミュニティセンター、文化会館）

都市機能が充実している。自転車で用事ができる。

- ・手軽に動いて回れる。自転車や車で簡単に動ける。

教育・文化が充実している

城下町的要素があり、全体がのんびりしている。

- ・「お城、本島、森林公園、快天山古墳など」歴史的な資源が豊富である。
- ・人が集まる市になるためのイベント作りが必要である。全国から丸亀へ・・・。

子どもの情操教育の面でよい。

ハートフルな住民&行政。

いろんな行事があります。生まれも丸亀です。

子育て・教育環境が充実している。

- ・城下町的な要素があるから?!
- ・県立高校、私立高校があり、教育に力を入れている。

文化資産が豊か。

丸亀城が安らぎを与えてくれる。

交通

交通網が未発達。

島しょ部の為、交通が不便。

医療が若干不便。

飯山・綾歌コミュニティバスは、便数が少ないし、日・祝・祭日・年末年始などは運休ですが、便数を増便や年中運行をして欲しいです。

- ・コミュニティバスが市民にとって使いやすいものなのか？（今の状態を検討すべき）

コミュニティバスの循環経路が市内でばらばら、南部から市内中心部への行き来が不便。

コミュニティバス（ぐるっと）は、8年前（H9）に運行して以来、私の近くのバス停がありませんので、バス停を復活して欲しいです。

施設の老朽化

学校校舎、体育館等の教育文化施設の老朽化が進んでいる。

安全・安心

安全に弱い。昨年の台風時の高潮。

- ・地形に対しての災害対策の強化が必要（今までは、災害が少なかった）
- ・（市民）早く情報がほしい。（行政）的確な情報を市民へ流す。
- ・「安全・安心の住みやすい市」になるためには、行政と市民が双方に考えていくべき。

資源の活用

福祉がおくれている。

観光事業がおくれている。

- ・いい資源がたくさんあるのに活かしていない。市内を結ぶ観光資源。
- ・「いきいきサロン3ヶ所」しかない。高齢者に生きがい作りの場を。（しょうぶ園・物産展などの運営）
- ・郡家町、川西町など丸亀南部へ市外から若い人達が住んでいる。若い世代が増加。
- ・一方で・・・、旧丸亀の市内中心部は人が減っている（空洞化）

その他

財政悪化。

それぞれの地区での計画が必要なのでは？

- ・城中心 ・飯野 ・栗熊・岡田・・・

3班 住みやすいグループ

自然環境

今の住所が土器川沿いで、非常に自然環境に良好な場所で、今後この様な環境を壊すことのないような行政を望む。

自然豊か、気候温暖で災害が少ない。

- ・他の地域に比べて特に悪いと思う点はないが、改善点はある。
市民・行政それぞれがしなくてはいけない点が多い。ゴミ問題等。

・ 適当にお店もあり、自然も豊か！環境がよい！

生活環境

ハード面、ソフト面の調和がとれているから。

- ・健康で自分で行動できる人には良いかも。しかし、障害者の人々にとってはどう？
- ・合併したのだから、旧～と思わずに、新丸亀市として考えていきたい。
南北の交通の便が悪い。

地域環境

地域の人の顔が見える。(直接顔を合わせることはなかなか出来なくても、日々のちょっとした挨拶や地元の祭りで会うと、どこの誰というのがすぐ分かる。
安心できる)

- ・自治会の加入率は高くない。 災害の場合、一人暮らしの人々が困る。
- ・マンション等が建つと全然顔が見えない。
- ・地域によっては、都会化している。

市民参画環境

市民と行政の協働という点で、今まで(旧)丸亀市に住んで23年、かなり「風通しのいい、まちづくりができる市」という印象がある。

EX: まちづくり女性会議 公募による審議会 等

- ・市民の声を聞くことは大切!!

まちづくり

一市二町の合併後は、だんだんとデメリットが出てきて、それが心配です。住民を基本にした市政を望む。

- ・一体感が不十分。
- ・住みにくいと感じはじめた。

福祉

福祉施設等の管理を一般に公募しているが、市がどういう風にかかわっていくのかが心配！綾歌は老人が多いので！

- ・福祉施設について、予算減にするのは・・・。弱者の切捨て。
健康な間は、自然も豊かでまあまあ住みやすいまちと言えるが、現在住んでいるところが、いわゆる端っこの町なので、交通の便など不便。環境面で、すべての人にやさしいとは言えない。
- ・すべての人々に優しい 難しい。しかし、見通しは必要。
- ・すべての人々 弱者はどうなのか。老人、障害者に住みやすいまちも考えていかないと!!

まちに活力がない

駅前の文化施設等が使いにくい。

- ・市民に愛されない立派な施設。
商店街に活力がなくなって久しいこと。

市民のまちづくりの意識が低い

批判はするが、積極的に参加意識が薄い。

住人がおとなしすぎる。平和ボケ！

- ・評論する立場になっている。

4班 どちらともいえないグループ

風土

- 温暖な気候、安価な野菜・果物。
- のんびり(あいまいな)地域社会。
- 自然が豊かで季節感を肌で感ずる。
- 自然がある。平和である。やさしさがある。
- ・自然環境を守っていくべし。
- 自然豊かで子どもをのびのび育てられる。

生活環境

- 家族で出かけられるところが少ない。
- ・市外に向けて動く傾向。
- ・健康のルート化が出来ていない。
- ・こんぴら街道。
- ・周辺地域。
- ・城。
- ・その他いろいろある。
- ・情報発信たりない。外向き!

生活関連施設

- 商店街が寂しい。
- バスの時刻、(少ない)綾歌 飯山 丸亀間必要 公共機関連携なし。
- ・市民も、もっと利用すべし。
- ・利便性を高めると客が増える。
- 日常生活が不便。医療機関充分でない。
- ・離島の不便さをなんとかしたい(すべての面において)
- 大型小売店が多い。
- ・商業の発展。
- 良い意味田舎でもめ事が少ない。安穩として暮らせる環境は整っている(市内)。
- ・施設はそろっている。いかに活用していけるか。

地域コミュニティ

- 安定しすぎているので、将来がジリ貧になる予感がある。先行き不安感が大。
- 特に若い人の元気がない。
- 前向きな発言が少ない。
- 住宅、住民関係(同年)
- ・若者に活躍の場を。
- ・自治会が弱い。コミュニティ運営を上手に。

教育・文化

- 車、自転車、人、皆、交通規則にあいまいで危険。
- 家の建築が密すぎて、日照が問題な所もあり。
- ・交通教育が不足している。
- ・マナーが悪く、交通施策が悪い。
- ・自然と調和したまちづくり。互いに住みたい空間
- ・建築申請時の許可強化。

5班 どちらともいえないグループ

自然環境に恵まれている

緑豊か。

海あり商業地域あり、田園地域あり、山あり、生活環境に恵まれている。

・旧市街地と、綾歌・飯山では事情も異なるが、自然豊かなところが多い。

・自然・生活環境様々な点で、バランスが取れている。

自然が豊かで空気も水もほぼ満足できる水準。

食糧は自給自足が可能である。

・畑・田などが多く、農作物が豊か。

生活環境がよい

比較的道路幅が広いところがある。

・幹線は道路が広いが、一歩中に入れば消防車なども入れない道路がある。

香川県の真ん中に位置し、東、西、南、北に行きやすい。

道路網が整備されていて、いろいろな方面へのアクセスがしやすい。

・全般的には道路は狭いところもある。

・旧市街は、歴史上、道路は袋小路になっている箇所もあり、通りにくい。

都会でもなく田舎でもなく、ちょうど良い。近くにスーパーなどもあり、生活は比較的しやすい。

買い物、乗り物の便が良い。

歴史・文化が身近にある

丸亀城周辺環境抜群。

・文化的、自然など、様々な点で住みやすい。

城下町であり、歴史があり、まちが落ち着いたしている。

お城が市民の心の中に根付いている（旧丸亀市民）

施設環境がよい

学校の施設が充実している。

・冷暖房など。

・施設の充実には、旧丸亀市、飯山町、綾歌町によって差がある。

道路、建築物など、バリアフリー化が進みつつある。

子育て支援センター等でお世話になっている親同士の交流も深まり良いと思う。

風紀が悪い

街にタバコの吸殻等のゴミが多い。

駐車状態が悪い。歩道に乗り上げていて、取締りがない状態。

J R丸亀駅前の風紀が余りよくない。他地区からの人たちには不快感。J R利用者も同じ。

子どもを一人で歩かせるのが不安になるような犯罪未遂事件が毎日のように学校のプリントで配られる。

災害に弱い

自然豊かな恵まれた市ではありますが、クリーンな海、管理が行き届いた山（森林公園）になって欲しい。

・中讃地域の海は魚が育たなくなっている。

台風等の災害を受けやすい地区です。

道路施設が不十分

道路狭い所が多い。整備。

・消防車が入れないところがあるので不安。

交通がやや不便である。

・歩道整備ができていない。

市民と行政の取り組み

商店街が衰退して、まちがドーナツ現象のように空洞化し、人が集まる場所が不足しているように感じる。大型店ばかりでなく、人と人がふれあえる場所が必要ではないか。

小単位でのコミュニティが不足している。子育てをしている時に、近くに集会場のようなところで定期的集まりがあればと思った。そうすると近くの人が集まるので、その後も付き合いが広がるのではないか。旧丸亀市と同等のサービスが受けられているのかどうか不安。

・下水道の整備が追いつかない。

合併後、いろいろな問題を新しく設立したコミュニティに注文、仕事をおしつけている。もう少し行政の仕事、役割、住民の作業分担をはっきりさせ、自発的なボランティアをさせた方が良い。

行政・市民共、基本的な考え方が同じ。異質、斬新な考えを認めにくい。

教育問題

三学期制など。

・三学期制のときの方が、けじめがついていたように思う。

6班 どちらともいえない・住みにくいグループ

災害について

細かい点で心配りが足りない。

この水はどこを流れ、どこに迷惑をかけているのか勉強して欲しい。

- ・地域ごとに話し合うことが必要。
- ・災害が起こる前に勉強するべきだ。

地域について

タウン(町)がシティ(市)となり、広報等の配布については、自治会配布から全戸配布となったため、担当の手間は減りましたが、住民の交流がなくなる。自治会に入らない人が多い。

旧町内の3地区間の結びつきが少し弱くなった。(反面、栗熊地区での結束は、徐々に高まりつつある。

行政が遠くに感じるようになった(小さい町の小回りのきく行政に慣れているため)。

道路について

公共交通機関が充実していない割に道路の整備が遅れている(歩道・自転車の通行帯が無い、道が狭い)。

- ・コミュニティバスの不便さ。(乗換えがある)

市の中心部が遠くて、運転する道中に緊張感と不安がある。(でも前向きに考えれば、行動範囲が広がっていいかも?)

中心市街地に空き店舗が多く、古びている。特に夜になると歩きづらくなる。

- ・ドーナツ化現象。
- ・飲み屋街(塩飽町等)は、違法駐車が多い。

交通が不便。(高齢化社会に対応できていない)。

- ・商店街を高齢者の住みやすい町にする。
- ・全くこの通りだと思ふ

道路網が分かりにくい。駐車場の問題もあり。

- ・メイン道路以外は狭い。
- ・自転車で走りにくい。
- ・南北が狭いので、交流しにくい。

商店街で買い物する所がない。

- ・店があることを知らない。
- ・日用品を買う場所がない。
- ・合併記念大売出しセール(商店街)。

お城の未来

市PTA活動等の青少年育成に関して、新市はとても熱心である。

- ・末端まで届いてないのでは。

お城がある。

- ・外部の人たちに役立つように整備が必要。市民の心の宝にしていきたい。

のんびりしている。

自然が豊かである(特にお城の周り)。

憩いの場がある(土器川、丸亀城)。

- ・城に駐車場がない。

伝統的な建物が多く、町並みがきれい。

- ・お城が活かされていない。

お城のあるまちに住んでいるという誇りが持てる。

お城の整備が出来ていない(トイレ、駐車場、買い物の出来る場所がない)。

管理事務所がないので、どこに相談したら良いのか分からない。